

会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成26年度第6回定例会会議記録
開催日時	平成26年9月24日（水曜日） 午後6時30分から7時45分
開催場所	田無公民館 第二学習室
出席者	委員：渡辺文子、野間春二、瀬川容子、馬場真由美、真鍋五十鈴、畠山昭裕、糸山時子、中曾根聡、上田幸夫、新藤浩伸、大野雅生、武司一郎、西原みどり 職員：田中館長、小笠原分館長、鴨志田分館長、長谷部分館長、平井分館長、石川分館長、神田園子（オブザーバー）
欠席者	小林克彦、新藤浩伸
議題	1 平成26年度第5定例会の記録について 2 報告事項 行政報告 公民館だより編集室報告 都公連委員部会報告 利用者懇談会日程報告 柳沢：10月5日（日曜日） ひばりが丘：10月11日（土曜日） 芝久保：10月18日（土曜日） 谷戸：10月19日（日曜日） 保谷駅前：10月25日（土曜日）いずれも午前10時開始 田無：10月31日（金曜日）午後1時30分開始 3 審議事項 （1）事業計画書・事業報告書について 4 事務連絡及び情報交換
会議資料の名称	資料1 西東京市公民館運営審議会平成26年度第6回定例会次第 資料2 西東京市公民館運営審議会平成26年度第5回定例会会議録 資料3 西東京市公民館だより編集室報告
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
傍聴者	有り 無し

会議内容

議題1 第5回定例会の記録について

修正及び訂正なし

議題2 報告事項

行政報告

○事務局：

芝久保公民館「はじめてのステンドグラス講座」が追加 P9差替え（講師変更）

決算委員会開催...人事より児童喫煙防止の観点から、職員及び来館者も所定の喫煙場所での喫煙をするよう通達があり、公民館においても所定の場所での喫煙をお願いしたい。

（2）公民館だより編集室報告

別紙報告書のとおり

○委員：

8月号「ゆきかぜ」横浜の模型展示会に西崎さんと一緒に見学にいった。

9月号 川原さん本人に5件の問い合わせがあった。

○委員

「ゆきかぜ」に関する問い合わせ15件について、電話されてきた方の年代は、どのくらいか。

事務局

同じ世代、同じ方面におもむいていた方からの問い合わせ件数が多かった。

○委員

若い人から電話してきたということはないのか。

○事務局

聞いておりません。

○委員

11月1号で、タイトルや写真キャプションを多言語表現する。とあるが、どういうことか。

○事務局

外国の方にも読んでもらいたいため、英語、中国語、韓国語などで伝えたいと考えている。

(3) 都公連委員部会報告

委員部会が8月24日、9月定例会が9月24日に開催された。7月15日に開催された第1回の研修会では、メインテーマを「公民館の活性化について」、サブテーマを「公民館まつりを考える」として開催された。参加者は48名、アンケート回答者42名（公運審委員37名・職員5名）。適切であったかどうかという質問については、36名の人が適切であったと回答。但しアンケートの中で出てきたのは、ワークショップ（グループ討議）を行うのは良いと思うが、時間が足りないという指摘があった。

9月24日の運営委員会では、第2回の研修会11月22日を予定している。講師の都合により12月8日になる場合もある。予定については流動的であり、12月13日を委員部会としては講師交渉をしていく。

(4) 利用者懇談会日程報告

○柳沢公民館：

10月5日（日）午前10時～12時

前半1時間については、施設の諸注意事項、意見の聴取。後半の1時間については、防災についてグループ討議。討議には職員が入り、直接意見を聞く。

○ひばりが丘公民館：

10月11日（土）午前10時～12時

前半は、利用者との館運営上の意見交換。予算編成期を控えているので、来年度事業への希望などを聞く。後半は、9月7日にひばりが丘地域で市の防災訓練が実施された。帰宅困難者の誘導・受入れということで職員全員が参加。報告会を含め、地域の防災について話し合い考え合う機会としたい。

○芝久保公民館：

10月18日（土）午前10時～12時

利用者間の意見交換の交流と直近の過去10年から15年程度の芝久保の事業を資料として配付し、来年度の事業計画に意見要望を反映させたい。3月には、団体連絡箱とセットで「地域を考える講座」を開催したいと考える。

○谷戸公民館：

10月19日（日）午前10時～12時

最初の1時間は、館の運営状況、使用状況、備品、事業関係について話す。後の1時間で、地域で活動しているグループと谷戸で立ち上がったグループの方を迎えて、事業活動に対する意見交換を行う

予定である。

駅前公民館：

10月25日（土）午前10時～

前半1時間半は、「共に生きるための居場所づくり」として講演会を実施。後半1時間程度を目安に、駅前の前半の事業、後半の事業、来年度の事業要望等、今年度の備品の紹介や来年度必要な備品要望などを聞く。

田無公民館：

10月31日（金）午後1時30分～

前半の1時間は、西東京市危機管理室の職員による災害に備えるとして「あなたの防災対策は、大丈夫ですか」というタイトルで、防災・減災に向けた西東京市の取り組み、公民館など公共施設の役割について話を伺い、意見交換を行う。後半1時間については、来年度の公民館事業や運営について話し合う。

○委員：

利用者懇談会に出席できる委員の予定を聞きたい。

- ・柳沢…馬場委員、野間委員
- ・ひばりが丘…畠山委員、渡辺委員、野間委員
- ・芝久保…畠山委員、野間委員
- ・谷戸…馬場委員、畑山委員、武司委員、真鍋委員、西原委員
- ・駅前…糸山委員、真鍋委員、上田委員
- ・田無…馬場委員、畠山委員、渡辺委員、野間委員、西原委員

○委員：

田無だけ、どうして平日なのですか。

○事務局：

3年前までは土曜日だったが、参加者が少なく平日にしたら実際増えたので、動かせなくなった。

○委員：

10月25日は、文化祭なので出席される方も少ないのでは。

○事務局：

講師の都合もあり、日にちの変更はできなかった。

○委員：

どなたが講師をされるのですか。

○事務局：

森田眞希（保育士・NPO法人地域の寄合所 また明日 代表理事）さんです。内容としては、始めに幼児と高齢者が互いに支える存在になれた、という事例をニュース映像として15分、講演を30分、グループ討議を30分、発表・統括・アンケートを15分と考えています。

議題3 審議事項

(1) 事業計画書・報告書について

平成26年度公民館主催事業計画書（8件）平成25年度公民館主催事業報告書（4件）

（事業計画書）

地域の高齢化を考える講座「自分らしく生きるための 身体・心・お金の健康」(差替え)

委員：

事業計画書・報告書の中に立案者が2人の場合が時々あるが何かわけがあるのか。

事務局：

二人で話をしながら立案した方が良いと思われるものについては、二人で記載している。

○委員：

他の事業でも同じことが言えますか。何か特別なわけがあるのですか。

○事務局：

はい。担当者が今年度着任したばかりということもあり、地域の実情について知り得ていないため、その部分のホローする意味も含め二人の記載にした。

○委員：

連携プレーを前提に立案されているのではないかとあって、いつも見ている。ですから、館長の立場は、サポートしているのに、わざわざ出されると、どうしてなのかと思う。他の館においても、ときどきあり特別なわけがあるのかなと思う。立案の内容を聞くときにどちらに聞いたら良いのか。

○事務局：

どちらに聞いていただいてもけっこうです。

○委員：

そうであれば、一人でいいのかなと思う。

○委員：

高齢者を対象にした割には非常にボリュームアップして、ついていけるかなと心配がある。認知症サポーター養成講座をいれているが、全く意味がない。これはあくまで数字づくりであり、何の役割もない。具体的な講義にする方が良いのではないか。

事務局：

養成講座を受けて、認知症の方への認識は深まった気がしている。

○委員：

サポーターになった方は、何か役割がほしいのだと思う。独居の一人だけを1か月に一回訪問するなど役割を与えればいいのに、ただ受講者の数字の追い方をしていると不愉快である。

○委員：

受けた後のフォローが何も無いわけではない。行ってあげるというふうにはなっている気がする。

ただこの中に入っているからいいのではないかなと思う。定年を向えた方が主な対象ですね。おそらく、この位の回数で地域を分かってほしいということで、高齢化の問題もするのですから、それはそれで良いと考える。サポーターの話だけは、フォローがないことを今回の担当者に言っておいてもらった方がいいかもかもしれません。

○事務局：

はい。かしこまりました。

委員：

私の希望としては、これだけのバラエティのあるものを行うので高齢者がやるというのは、しんどいと思うので、逆にオープンにしてもらった方が集まりやすいのではないか。

事務局：
オープンというのは…

○委員：
公開講座をオープンにした方が、集まりやすいのではないかと。高齢者でこれだけ詰め込まれると、イメージが変わってしまう可能性がある懸念をしている。2回位に分けた方がいいのではないかと思った。中身はいいのだが、詰め込み過ぎというふうな気がした。

○事務局：
公開の件は、他の多くの講座もそうであるがフルコース出席できる方のみで定員に満たない場合は、希望のコマのみの参加も受けており柔軟な対応をしたいと思う。

キッズ日本文化体験教室 和紙ちぎり絵・茶道

○委員：
すごくいい講座だなと思った。西東京市もそうであるが、二世帯住宅が減ってきている。世帯数ばかり増えて昔の伝承がされない傾向にあり、正統派の方が伝えてくれたことはとてもいい講座だと思う。

世代間交流講座「きれいなお手玉を作ろう」

委員：
公民館の役割として、世代間交流はキーポイントになってくると思う。若い世代に対しての指導や教育が必要になってくると思うので、このような講座を取り入れて実施したことは公民館として評価したいし、これからも続けて欲しいと思う。

「もしも」の備えに！カラダで感じる防災実習

委員：
これは避難訓練ですが、一部気をつけてもらいたいものがある。煙体験は小さな子には恐怖感を味あわせ、泣き出す子も出てくるので、事前の説明や声掛けが必要である。

第32回芝久保公民館まつり・公民館主催講座「Do you Know Sadako?」サダコの折鶴が世界に羽ばたく(仮)

○委員：
サブタイトルが素晴らしかった。気を引く一つのポイントになると思う。実際に折鶴を使って表現するという新しい発想の考え方が良かったと思う。

ナチュラル親子写真講座 入門編

○委員：
入りやすいものから入った方が、初めての体験や印象によって公民館はこういうことだとアピールすることができるので、ハードルは低いがこういうものを織り込んでくれた方がありがたいかなと思う。

多文化共生講座2「地域の歴史と文化を楽しもう」

○委員：
配慮されたやり方で、日本人と外国人とが折半して行うことで、人数的には偏るかもしれないが、お互いの意思疎通だとかお互いを補いあいながら共同で行うことが特徴であり、それに沿った形で企画されていることが良いと思う。多文化共生の場所の活用が少ないので、こういうものをきっかけに他のセッションだが、共生文化がさらに発展すればいいかなと思う。終了者がまた改めて参加するというサポートするという一つの役割として素晴らしいことだと思う。そういう活用の仕方がいいかなと思う。

どんなどこだろう！世界にふれよう

○委員：

タイトルの付け方に疑問がある。これだけ見たら、これは何だろうと思って、中を読むと内容がわかるが、皆さんにアピールするときには、もう少しわかりやすい感じで何か工夫されるといいのかなと思う。

○事務局：

ちらしやポスターやだよりはわかりやすく書きます。

多文化共生講座2「地域の歴史と文化を楽しもう」

○委員：

このような感じで出てしまうと非常に硬いが、中を見ると茶道を体験したり街歩きをしたり、楽しいものを作ったり、逆にこっちを出してきた方がいいのではないかな。住んでいる外国人の方にアピールするのであれば、ひらがなを多くして、内容が分かるように出すと良いと思う。

地域を知る講座「寄せ植え体験！花壇づくり名人に弟子入りだ！」

○委員：

対象者も一目でわかるような、全体的にわかりやすく事業の名称の中にもりこんだりするとよいのではないかな。

世代間交流講座「きれいなお手玉を作ろう」

○委員：

アンケートの中の誤字 以外→意外

高齢者の方も自ら参加しておもしろい講座になっていると思う。

○委員：

9月13日に田無公民館のロビーで、ひばりが丘公民館で活動しているギターアンサンブルのロビーコンサートが行われた。キャパが30~40名のところ90名の方がこられた。図書館の流れから来ている人は10名程度で、それを聞きにひばりが丘方面から来館している。日頃活動されている方たちの発表の場でもあるし、それを支えている周りの家族やいろんな方たちのつどいの場でもあるところ、ロビーを開放してくれて感動した。そういうところでいろんな人を呼び込んできて、ロビーから利用へつなげられればいいのかなと思う。

こわーいお話を聞く会

○委員：

泉小の子どもたちの参加があったかどうか。

事務局：

学校名を聞いていないので定かではない。そんなに来てはいないと思う。

「もしも」の備えに！カラダで感じる防災実習

○委員：

AEDや火災消火器の操作方法だとか、その辺は…。

○事務局

報知器については、毎年災害発生訓練の合図の一つとして、職員の方で鳴らしている。消火器については、時間的な問題で入れられなかった。起震車は、落選した。

「科学の本とあそび講座」 楽しい実験から理科読も身につけよう！

○委員：

参加者が多かったようで、今後も多くやってもらいたい。

議題4 事務連絡及び情報交換

○事務局：

関東甲信越ブロック会議に参加される方には、集合時間等は別途お知らせする。

○委員：

その他、質問や相談したいことがあるか。

○委員：

4月の谷戸まつりで集まった復興支援のバザーと模擬店で得た収入20万円を直接女川町にある「みなとまちセラミカ工房NPO法人」に今月の19日と20日に分館長を含め事務局6名で持って行くことができた。どこに使用されるかは未定であるが、必ず報告しますと言われているので谷戸まつりでも報告していきたい。

○委員：

7月28日に社会教育委員の会議があり傍聴した。社会教育委員の方たちは、教育長からの諮問を受けて平成25年から平成35年度の社会教育事業について検討しているようである。その諮問という内容が今後の社会教育行政の運営体制について提言をまとめる。という内容で検討されている。その中に三つの部会が設けられていて、部会1は、団体活動の活性化に向けた支援、部会2は、地域生涯学習事業の見直し、部会3は、生涯学習情報の整備という3部会で検討されている最中である。時間があれば、社会教育委員の会議にも出席してほしい。

○事務局：

現在、提言をまとめているところであり、社会教育委員の皆さんは、部会に分かれて自由活発にいろんな考えを出されている状況である。当面は平成27年度に社会教育の中でも組織改正が行われる予定であり、社会教育行政の組織の見直しが喫緊の課題である。今後は公運審委員の皆さんの意見や公民館とのすり合わせも行っていきたい。今後の予定は、10月に中間まとめ、12月に提言を取りまとめる依頼をしている。

○委員：

中間まとめの前後に公運審との意見のすり合わせを行うということで、そういう機会を作ってもらうことがオール社会教育というか…。これだけ公民館が充実している自治体は数少ないというか西東京市の良さというところもあるので、ぜひ丁寧に議論を進めて中間のまとめをしてもらいたい。

平成26年度第7回定例会 10月22日（水曜日） 午後6時30分～ 於：田無公民館 第二学習室